

2018年4月～2025年3月31日に本院の 消化器・移植外科で、手術を受ける

研究 Virtual reality (VR) 画像を用いた術中手術支援 の実施について

1. 本研究の目的および方法

2018年4月～2025年3月31日に本院の消化器・移植外科で、手術を受ける方が対象です。

CT・MRI・レントゲン検査などのデータを用いて、VR (Virtual Reality) 画像を構築します。何か特別な処置を必要とするわけではありません。VR とは、「仮想現実」と訳されますが、患者様の体内に入り込んだような感覚で臓器の裏側や内腔を、自分の周囲 360° にわたって全方位的に捉えることができます。近年、VR 画像を術中ナビゲーションツールとして応用する報告が、頭頸部外科や形成外科領域を中心になされています。VR 画像を消化器外科手術中に使用することで、手術支援に使えないか、あるいは、同画像を医学教育に使えないか、有用性を検討します。本研究は、倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

情報：画像検査データ、病歴、カルテ番号 等

本研究では、情報を特定の個人を識別することができないように匿名化したうえで使用します。収集した情報は、電子媒体として保存し、徳島大学病院では、研究終了後5年間、消化器・移植外科教室（医局）の施錠可能な棚に保管します。保管期間終了後は完全に廃棄し、本研究以外には使用しません。診療情報の提供先は、Holoeyes株式会社であり、提出したポリゴンデータは匿名化され、電子媒体として保存される。

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱う。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ております。

5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学 消化器・移植外科

【研究責任者】

徳島大学 消化器・移植外科 教授

島田 光生

【連絡先】

徳島大学 消化器・移植外科 教授

島田 光生

088-633-7139

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。